



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6927 URL http://www.heliostec-hd.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 定一
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役統括管理部長 (氏名)川坂 陽一 (TEL)079(263)9500
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,362	24.3	1,705	57.7	1,654	60.4	1,180	65.3
29年3月期第2四半期	9,138	22.8	1,081	30.2	1,031	24.7	713	26.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,369百万円(98.3%) 29年3月期第2四半期 690百万円(22.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	65.26	65.22
29年3月期第2四半期	39.74	39.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,055	10,585	55.6
29年3月期	16,594	9,571	57.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,585百万円 29年3月期 9,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	37.3	2,600	87.5	2,600	89.0	1,800	57.3	99.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	22,806,900株	29年3月期	22,806,900株
30年3月期2Q	4,708,710株	29年3月期	4,768,710株
30年3月期2Q	18,083,764株	29年3月期2Q	17,968,190株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社では、第2四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しております。決算説明会で配付した資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要マーケットである液晶パネル用設備投資は、G8.5、G10用を中心に活発に推移しており、また今後も継続すると思われます。有機ELパネル用の設備投資も活発になっております。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、配向膜用フレキシ印刷装置及び露光装置用光源ユニット、また、有機ELパネル用を含む種々の用途に対してインクジェット精密印刷機等の売上が引き続き好調に推移しております。なお、前期に複数顧客より大量受注したインクジェット精密印刷機は、当期第2四半期に売上を計上いたしました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ22億23百万円(24.3%)増収の113億62百万円となり、営業利益は6億24百万円(57.7%)増の17億5百万円、経常利益は6億23百万円(60.4%)増の16億54百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億66百万円(65.3%)増の11億80百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

①ランプ事業

ランプ事業につきましては、露光装置用光源ユニット装置の売上が順調に伸びているため、紫外線ランプが増収となり、LEDを含む一般照明用ランプの落ち込みをカバーしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比0.6%増の15億92百万円、セグメント損失は、6百万円(前年同期はセグメント利益20百万円)となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、インクジェット精密印刷機の大型案件が完納され、更には、下期納品予定の大型FPDパネル用の配向膜製造装置も売上計上となりました。また、露光装置用光源ユニット装置も計画を上回る売上となり、好調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比33.6%増の77億38百万円、セグメント利益は、前年同期比55.7%増の18億27百万円となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末現在の受注残高は、119億34百万円となっております。

③人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣、設計請負及び製造派遣を行っております。技術者派遣、設計請負については、地域密着型の事業の為、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図り安定した業績で推移しました。製造派遣については、派遣者数の増加に努めた成果が出ました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比15.5%増の20億60百万円、セグメント利益は、前年同期比4.2%増の94百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22億50百万円増加し、160億81百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が8億90百万円、仕掛品が13億3百万円、前渡金が3億36百万円増加した一方、流動資産のその他に含まれる未収入金が2億25百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加し、29億74百万円となりました。その主な要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が2億22百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ24億61百万円増加(14.8%増)し、190億55百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億74百万円増加し、76億47百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が8億23百万円、短期借入金が4億51百万円、未払法人税等が2億16百万円増加した一方、前受金が6億6百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億72百万円増加し、8億22百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が2億89百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億46百万円増加(20.6%増)し、84億69百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億14百万円増加(10.6%増)し、105億85百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を3億60百万円行った一方、親会社株主に帰属する四半期純利益が11億80百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、上述の資産及び負債の増加を受け、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント低下し、55.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億33百万円の収入(前年同四半期は5億72百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益16億53百万円、たな卸資産の増加額(資金の減少)10億64百万円及び法人税等の支払額3億2百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、94百万円の支出(前年同四半期は53百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出71百万円及び無形固定資産の取得による支出18百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億58百万円の収入(前年同四半期は3億80百万円の支出)となりました。主な内訳は、短期借入れによる収入4億51百万円、長期借入れによる収入5億円、長期借入金の返済による支出1億40百万円及び配当金の支払額3億60百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ8億87百万円増加し、50億13百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成29年5月9日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成29年11月7日)公表の「平成30年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,181,297	5,072,174
受取手形及び売掛金	5,295,829	5,164,623
商品及び製品	327,077	275,715
仕掛品	2,548,426	3,851,672
原材料及び貯蔵品	547,003	669,906
前渡金	229,597	565,651
その他	704,332	484,955
貸倒引当金	△2,613	△3,532
流動資産合計	13,830,950	16,081,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	723,951	743,516
土地	800,623	841,913
その他（純額）	540,473	519,158
有形固定資産合計	2,065,049	2,104,588
無形固定資産		
のれん	32,016	21,344
その他	81,345	82,287
無形固定資産合計	113,361	103,632
投資その他の資産		
その他	641,535	828,122
貸倒引当金	△56,754	△62,304
投資その他の資産合計	584,780	765,817
固定資産合計	2,763,191	2,974,037
資産合計	16,594,142	19,055,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,053,728	2,877,005
短期借入金	300,000	751,100
1年内返済予定の長期借入金	181,663	252,528
未払法人税等	241,480	458,317
賞与引当金	316,463	270,597
製品保証引当金	25,914	38,971
前受金	2,786,158	2,179,679
その他	667,623	818,910
流動負債合計	6,573,032	7,647,110
固定負債		
長期借入金	252,515	541,639
その他	197,211	280,821
固定負債合計	449,726	822,460
負債合計	7,022,758	8,469,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	5,919,007	6,731,667
自己株式	△1,194,133	△1,179,109
株主資本合計	9,421,918	10,249,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,645	336,030
その他の包括利益累計額合計	146,645	336,030
新株予約権	2,820	—
純資産合計	9,571,383	10,585,633
負債純資産合計	16,594,142	19,055,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,138,472	11,362,414
売上原価	6,561,043	7,879,118
売上総利益	2,577,429	3,483,295
販売費及び一般管理費	1,495,961	1,777,514
営業利益	1,081,467	1,705,780
営業外収益		
受取利息	119	77
受取配当金	8,046	7,658
業務受託手数料	600	—
雑収入	4,217	7,504
営業外収益合計	12,983	15,239
営業外費用		
支払利息	6,803	5,973
為替差損	38,230	13,834
シンジケートローン手数料	17,000	43,640
雑損失	1,396	3,494
営業外費用合計	63,429	66,942
経常利益	1,031,021	1,654,077
特別利益		
固定資産売却益	—	103
特別利益合計	—	103
特別損失		
固定資産除却損	204	232
固定資産売却損	9,345	—
特別損失合計	9,549	232
税金等調整前四半期純利益	1,021,471	1,653,948
法人税、住民税及び事業税	269,698	498,912
法人税等調整額	37,776	△25,039
法人税等合計	307,474	473,873
四半期純利益	713,997	1,180,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	713,997	1,180,075

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	713,997	1,180,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,547	189,384
その他の包括利益合計	△23,547	189,384
四半期包括利益	690,449	1,369,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	690,449	1,369,460
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,021,471	1,653,948
減価償却費	111,774	114,526
のれん償却額	10,672	10,672
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63,929	△59,380
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	6,267
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△14,761	13,057
受取利息及び受取配当金	△8,166	△7,735
支払利息	6,803	5,973
固定資産売却損益(△は益)	9,345	△103
固定資産除却損	204	232
売上債権の増減額(△は増加)	586,297	154,516
たな卸資産の増減額(△は増加)	818,559	△1,064,127
未収入金の増減額(△は増加)	△120,148	182,843
前渡金の増減額(△は増加)	261,041	△457,662
仕入債務の増減額(△は減少)	146,472	425,046
未払又は未収消費税等の増減額	△31,174	104,925
未払金の増減額(△は減少)	△19,563	14,137
前受金の増減額(△は減少)	△1,850,067	△606,478
その他	8,455	43,420
小計	873,251	534,080
利息及び配当金の受取額	8,167	7,734
利息の支払額	△6,732	△5,851
法人税等の支払額	△302,093	△302,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,593	233,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,801	△71,731
有形固定資産の売却による収入	68,941	150
無形固定資産の取得による支出	△34,693	△18,540
投資有価証券の取得による支出	△71	—
その他	6,935	△4,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,689	△94,582

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	451,100
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△109,998	△140,011
リース債務の返済による支出	△882	△882
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	9,420
配当金の支払額	△269,522	△360,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380,403	458,862
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	138,500	597,698
現金及び現金同等物の期首残高	3,102,758	4,125,220
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	290,175
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,241,258	5,013,094

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,571,117	5,790,173	1,777,180	9,138,472	—	9,138,472
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,537	2,245	6,662	20,445	△20,445	—
計	1,582,655	5,792,419	1,783,843	9,158,918	△20,445	9,138,472
セグメント利益	20,461	1,174,124	90,261	1,284,847	△203,379	1,081,467

(注) 1 セグメント利益の調整額△203,379千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△203,382千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,569,216	7,738,363	2,054,834	11,362,414	—	11,362,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,506	504	6,094	30,105	△30,105	—
計	1,592,723	7,738,867	2,060,928	11,392,519	△30,105	11,362,414
セグメント利益又は損失(△)	△6,739	1,827,896	94,023	1,915,180	△209,399	1,705,780

(注) 1 セグメント利益の調整額△209,399千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「ランプ事業」及び「製造装置事業」の実態をよりの確に把握するため、両事業の測定方法を見直しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法により作成したものを記載しております。